

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

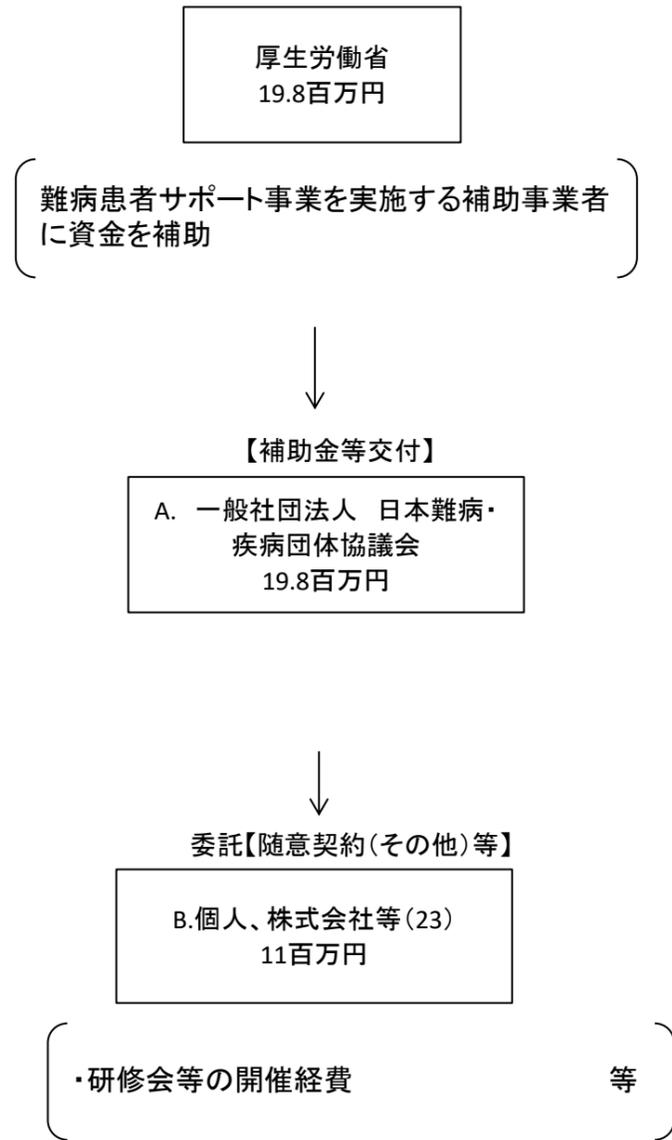
事業名	難病患者サポート事業			担当部局庁	健康局			作成責任者		
事業開始年度	平成23年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	難病対策課			課長：川野 宇宏		
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	難病患者サポート事業の実施について					
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	患者の不安やストレスを解消するための精神的、心理的サポートを行う様々な事業を実施する。自立した患者団体の育成を目的に経営マネジメントや運営管理の研修等を実施し、患者の支援を図る。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	①患者(相談)支援事業 患者(相談)支援ネットワークの構築、患者相談事業、管理研修等を通じて支援。 ②患者活動支援事業 国内研究会の開催支援、一般向けフォーラム等の開催支援、患者団体等との交流に対する支援。 ③調査・記録事業 患者・患者家族の体験談・療養経験をデータベース・テキスト化 ④ピアサポート事業 ピアサポーターの養成 (補助率:定額)									
実施方法	補助									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	21	20	20	20	20			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計		21	20	20	20	20			
	執行額		19	20	20	-				
執行率 (%)		90%	100%	100%	-					
当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)		90%	100%	100%	-					
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	難病等情報提供事業費補 助金	20	20	-						
	計	20	20							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 毎 年度	
	前年度の研修会の修了者 数	研修会の修了者数	成果実績	人	28	62	40	-	-	
			目標値	人	60	60	60	-	60	
			達成度	%	47	103	67	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	難病患者サポート事業補助事業実績報告書									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	相談件数	活動実績	件	563	1,065	296	-			
		当初見込み	件	237	563	1,065	296			
単位当たり コスト	算出根拠				単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	単位当たりコスト = X / Y X:「執行額」 Y:「研修会やフォーラム等の参加者数」			単位当たり コスト	円/件	16,949	21,427	17,846	17,846	
				計算式	X/Y	15,966,000/942	19,863,000/927	19,827,000/1,111	19,827,000/1,111	

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	I-5 感染症など健康を脅かす疾病を予防・防止するとともに、感染者等に必要な医療等を確保すること										
	施策	I-5-2 難病等の予防・治療等を充実させること										
	測定指標	定量的指標				単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度	
					実績値	-	-	-	-	-	-	
					目標値	-	-	-	-	-	-	
		定性的指標		目標		目標年度	施策の進捗状況(目標)					
						-						
						-	施策の進捗状況(実績)					
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	患者の不安やストレスを解消するための精神的、心理的サポートを行う様々な事業を実施する。自立した患者団体の育成を目的に経営マネジメントや運営管理の研修等を実施し、患者の支援を図るための経費に対して補助する。これにより、上位施策の推進に資する。											
	経済・財政再生アクション・プログラム	改革項目	分野:	-								
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)				単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
						成果実績	-	-	-	-	-	-
						目標値	-	-	-	-	-	-
					達成度	%	-	-	-	-	-	
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)				単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
					成果実績	-	-	-	-	-	-	
					目標値	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												
事業所管部局による点検・改善												
国費投入の必要性	項目				評価	評価に関する説明						
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	患者団体の資金力のみでは実施できないため、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	患者団体向けの補助金であり、国が実施すべき事業である。						
事業の効率性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	患者及び患者家族の支援の充実を図る事業であり、優先度の高い事業である。						
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				△	事業費のみではなく、事業内容についても評価する必要があることから、公募としている。						
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				無							
	競争性のない随意契約となったものはないか。				無							
	受益者との負担関係は妥当であるか。				-	-						
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				○	効率的な運営になっている。						
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				○	実施主体の事務経費等、必要なものみに支出している。						
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				○	患者や患者団体支援に関する経費のみを補助の対象としており、真に必要なものに限定されている。						
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				-	-						
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				-	-							
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				-	-							

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	毎年度、成果実績は概ね成果目標に見合ったものとなっている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	27年1月1日に難病法が施行、27年7月1日に疾病追加されたことに伴い27年度の相談件数が特段多かったため、28年度の実績ににおいて当初の見込みを下回ったものである。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-		
	所管府省名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	難病患者からの相談も需要があり、患者会リーダー養成研修も一定の参加者がいることなどの本事業独自の事業を実施し、患者・患者家族の支援を図っている。				
	改善の方向性	27年1月1日に難病法が施行、27年7月1日に疾病追加されたことに伴い27年度の実績が特段多くなったため、研修終了者数及び相談件数は減少しているが、難病患者等からの需要は大きいことから、引き続き適切に予算を執行し、継続して事業を実施する。				
外部有識者の所見						
引き続き適正な事業執行に努めること。 ただし、支出先については速やかに追記を行い、アウトカムの目標設定は前年度以上とせず一定数以上の設定が望ましい。(横田 響子)						
行政事業レビュー推進チームの所見						
一部の改善	事業内容	外部有識者の所見を踏まえ、事業の効果測定を適切に行えるよう、成果目標の目標値を見直すこと。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善		引き続き必要な予算額を確保するとともに、適正な執行に努める。 外部有識者、行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、成果目標の目標値を見直した。				
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	0016	平成24年度	113	
平成25年度	142	平成26年度	153	平成27年度	160	
平成28年度	156					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 しているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.一般社団法人 日本難病・疾病団体協議会			B.株式会社第一経理		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金	相談支援員等賃金	8.2	雑役務費	サポート事業事務局経理	4
旅費	事務局旅費等	5.4			
雑役務費	資料読み取り加工料、映像データ化等	2			
謝金	全国難病センター研究会講師謝金等	1.4			
借料・損料	研修会会場費等	1.3			
印刷製本費	全国難病センター研究会報告書印刷費等	1			
通信運搬費	電話・インターネット通信料等	0.4			
		0.1			
計		19.8	計		4

